

静岡県スキー協通信

静岡県スキー協議会
№70 (2017年度 1号)
2017年9月16日
発行者 長島 信三
編集者 神山 耕一

1. 第27回総会の報告

6月25日(日)第27回静岡県スキー協総会を3クラブ(東:伊東 中:静岡 西:浜松)の代議員の出席のもと北部公民館で行いました。

県スキー協の行事(正月スキーツアー・スキー教程学習会・春スキー 赤倉)、東海ブロック協議会、全国スキー協の行事参加報告が、それぞれの担当者からありました。スキー教程学習会参加者(6名) 正月スキーツアー(28名) 春スキー(7名)参加費・スキー場など工夫をしているつもりだが、なかなか集まらないのが現状です。

新入会員が無く、退会者があり会員の減少、高齢化でスキーから遠のく為と、原因は簡単ですが、そこから進めない現状のまま活動している状況です。

基本はクラブなので、東海ブロック協議会・全国スキー協の行事と関わりながら、指導員を中心に良い方向へ行けたらと思います。

静かな総会の中、わた雪の原さんから「活動方針の取組は重点を絞って具体化したらどうか」「高齢化で若者の入会をただ待つのでなく、若者の中に入っていないとだめ」など、貴重な意見を毎回してくれます。

全国スキー協のスキーマイトの読者部数が減少し財政赤字が続いているとの事。しかし、中身は広範囲で読めば充分楽しめる内容だと思います。県スキー協も方針(スキーマイトを会員に広める)の具体化として、まず理事会の中でスキーマイトを読み合わせする事を決めました。

また長く親しんで来たクラブが、消滅する前に次に繋げていく為にも、今までスキーで関わってきた若者に声掛けし、クラブ作りを呼びかけるなど考えていきたいと思っています。

暑かった夏も終わり、スキーシーズンは目の前です(大分ばてました!!)

楽しくスキーする為に準備しましょう。

【追伸】正月スキーツアー 嬉しいことに数名申し込み予約がありました。早めに予約して下さい。

2. 2017年度スキー協行事

県スキー協の行事は例年通り、教程学習会、イエティでの雪上講習会、正月スキー、春スキーを計画しています。12月第1週の中央研修会、第2週の東海ブロック初滑がシーズン開始の研修会です。その他各種行事が例年通り計画されています。

教程学習会

10月1日(日) アイセル 21 13:30～

持ち物 教程書 スキーマイト

雪上講習会

11月19日(日) イエティスキー場

ゲレンデ上部に9:00 集合

正月スキー

12月29日(月)夜 -1月2日朝

木島平スキー場・高井富士・よませスキー場

最終日は野沢温泉スキー場を予定

定員 28名です。

春スキー

3月17日(土) - 18日(日)

赤倉観光スキー場 (予定)

3. 各クラブの活動状況

【わた雪クラブ行事報告】

毎年8月に行う日帰り行楽ツアー。今年は28日(月)に神奈川県真鶴半島から箱根かけての散策となりました。みんなが日程を調節して都合を合わせたことで、今年もクラブメンバー5人全員が参加できました。天候にも恵まれ、残暑もやや厳しかったことから、海辺の景色がことさら心地よく感じられました。

ここ真鶴半島は、平地が殆ど無く丘のような土地が

続いています。メンバーの紅一点、山下さんの話によると、半島の自然が損なわれないように、森林が全て保護されているそうです。真鶴岬で降り立った際、見ると松の木の高いこと高いこと。木の幹には、プレートがつけられ、点検が常日頃からされていることが分かりました。近くのお林展望公園で昼食。山下さんのお手製弁当に舌鼓を打ちました。

午後は湯河原から椿ラインを通り箱根へ。途中「しとどの窟」という源頼朝が合戦に敗れて身を隠したと伝えられる場所に立ち寄り、大観山の展望台で眺めを満喫したりしました。箱根では定番の芦ノ湖散策。

山下さんが案内したのは、海賊船乗り場の駐車場から、湖畔沿いにせま～い道を10分ほどかけて走った人気のない湖畔。元箱根の喧噪から離れた浜辺のような場所でした。こんな場所があったのかと私たちは驚き、しばしの間、見慣れた芦ノ湖とは違った情景に目を見張っていました。

今回のツアーでガイドから食事までお世話をしてくださった山下さんに感謝しつつ一路伊東へ。原指導員宅に無事到着し、今回の旅を終えました。

(余談)

予定のある山下さんが先に帰り、残された男性メンバー4人。寂しさを紛らわすかのように、原指導員宅で飲み会に突入。1日を賑やかに締めくくりました。

(文責:加藤直宏)

【ゆきんこ】

- 6/4 37回総会
- 6/13 入笠山ハイキング
- 7/16 スキー板チュンナップ
- 7/17 バーベキュー
- 8/18-19 キャンプ
- 9/23-24 上高地散策&徳澤園テント泊 予定

ゆきんこホームページをリニューアル

【検索】静岡市 スキークラブ ゆきんこ

*「静岡市 スキークラブ」でも上位検索できます。
是非、見てください。

4. Fujitenサマーゲレンデの紹介

昨年、ここでもサマーゲレンデがあると知り、滑りに出かけてます。専用のワックスさえつければ、ふだん使用している板で滑走できます。

昨年は3回程行きました。自分にとっては良いトレーニング場です。というのも、水をまいたマットはまるでアイスバーン。板のコントロールが効きにくく、足元がズレやすい状態が続きます。特に私は両脚への力のかけ方が弱いので、ターンゾーンで下へ落とされやすい滑りになってしまいます。そのため、切り替えゾーンからターンゾーンへと体が進む中、太腿を立て、上体が板に先行してターンに入っていく滑りの練習を、否応なしに要求される場所だからです。

(わた雪:加藤直宏)



5. 連絡事項

(

野麦峠の山葵(わさび)の会 について

愛知スキー協の有志でクラブ立上げを計画中
会則より抜粋し紹介します。

- ①野麦峠スキー場を拠点スキー場として、会員一人一人が、遊び心を忘れずに「自分自身が本当に面スキー白い人生を追及するクラブです。
- ②新日本スポーツ連盟・勤労者スキー協議会に加盟し、スキー&スノーボードクラブとして活動します。
- ③居住の都道府県のスキークラブを紹介します。

50周年のウェア企画について

ウェアの候補の写真があります。

詳しくは、ゆきんこホームページから検索するか、最寄りの県スキー協理事に連絡しメールで入手してください。

6. スキーメイトについて

理事会で、スキーメイトを読み

注目した記事・感想などを話し合いました

2017/9/3 神戸、加藤、神山

◆170号

・スキー教程の歴史を振り返る 連載（第3回）

まだ若かった当時のことが思い出され、なつかしい。制作エピソードのグランジャーキャンプ、この当時からあったとは驚き。

日本で、最初にカービング技術のスキー教程を発売したのは、全国勤労者スキー協議会。・・・知らなかった。

・JAPAN SNOW EXPO2017 で欲しい用具を見つけ出す“探検隊”レポート

グーグルの新機能：セパレートフェイスパッド機能、レンズ交換機能

外観の見た目や値段で選びがちスキー板。展示会で選んだのと試乗会の感想がまったく違った。

コメントも商業ベースの雑誌と違いストレート。

・連載 雪なし県からのスキーヤー便り

琉球大の亀山統一（のりかず）先生の記事は、スポーツ全般に見識があり、毎回注目している。今回は、旭日旗とスポーツの応援し問題。このことに単に禁止にするだけではなく「スポーツを楽しむにはともに学び考えること」の大切さを強調。協会・クラブ・ファンがルールの背景を学び守る義務を考えよう。

ナチスを真似た旗や服装、今回の旭日旗 など戦争や全体主義、差別やヘイトが、人間を苦しめ、スポーツをゆがめたこと。こういう背景を知れば、自分で考えこんなことは起きません。と

・通信員レポート 滋賀県 第30回少女春スキー

全体で80名の規模で開催とは驚き。静岡でも以前は「こども春スキー」をやっていたが、今ではおとなだけの「春スキー」に。

スキーメイト No.170
2017・6月号

- 2 自転車 スキー界の活性化の一翼を担おう 和田利男
- 3 グラビア 虹に向かって滑るボーダー集団「雲遊人」 岡谷義孝
- 8 **新連載** 互いにリスペクトし合えるスポーツマン ニコニコ編集部 新谷晴生所長
- 14 新谷晴生講演「ニセコルール」とは 雪崩事故防止活動を始めたキッカケ 新谷晴生
- 18 スキー教程の歴史を振り返る No.3（最終回） スキー教程3作目 1994年発行 荻原正治
- 22 JAPAN SNOW EXPO 2017 日本最大の見本市で **欲しい用具を見つけ出す** “読者探検隊” レポート 最新テク情報を満載 五十嵐英夫 伊藤みどり 飯田 幸 美谷 義孝
- 32 販売のプロが選ぶ スノースポーツグッズ4 スノーフエア カクススポーツ 田村 明弘
- 34 ◆雪なし県からのスキーヤー便り Vol. 26 現場から考えるスポーツの政治利用・差別のなくしかた 亀山統一
- 36 われらリーダーが 指導員のすばらしさを あらためて実感 藤岡孝之
- 38 通信員レポート
 - 【北海道】 24回目を迎えたクラブ対抗スキー競技大会 石川秀昭
 - 【滋賀】 第30回少女春スキー 小島 功
 - 【埼玉】 雪ん子教室、初参加 木村 博
 - 視覚障害児の雪国教室に参加
 - 【愛知】 「ぶなの木」に入会者 一挙5名！ 永田政広
 - 【京都】 京都は怪我人続出のスキー場は外人&シャッター通り 三上保孝
- 44 2017年6月号 読者のページ
- 48 アフタースキー/月山 山スキー&東北編3編交流スキー報告 巻末とじ込み副読本が当たるアンケートはがき (送料別)

【今月の表紙】撮影：岡谷 義孝
4月の「雲遊人」キャンプに誘われて白鳥八の尾尾に付いてきました。自衛三山をバックに、思い思いに谷へ降り込んで滑って行くボーダーに思わずシャッターをきりました。ボーダーの中嶋さんもカメラの前でアピールしていました。

全国スキー協 会
Eメール: wsaj@post.email.ne.jp
TEL: 03-3971-4145
FAX: 03-3986-5403

編集長 伊藤みどり
◆企画編集担当 五十嵐英夫・藤岡孝之・岡谷義孝
伊藤みどり・飯田幸・美谷幸子

◆レイアウト担当 藤岡孝之・飯田幸之
編集・グラフィックデザイン担当: 飯田幸之
◆読者相談・管理担当 藤岡孝之・久保智恵

スタッフ大募集
文章を書くのが大好きな人・校正・レイアウトできる方 お待ちしております！

人と人の心をつなぐ
スノースポーツの専門雑誌
クラブでも活用し、
キャンペーンにも協力お願いします

**仲間増やしリスペクト
キャンペーン中**

新読者にもクラブにも2大特典

- ① 年間購読料(年間5号分)が半額
2000円 → 1000円
- ② クラブにも500円還元